

令和3年度

板野中学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- わかりやすい発問により、生徒の思考を深める授業の実践
- 認め合い、話し合い、学び合う授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
西山 拓志	校長:山田 匠 教頭:三木 健司 松本 賢一 教務主任:秋山 純 特別支援コーディネーター:有田優起子 研修主任:市川 尚将 学年主任:(1年)広瀬 敬三 (2年)千種 晶子 (3年)高畑 博之 教科主任:(国語)宮島 大輔 (数学)西山 拓志

校長

山田 匠

【小中連携または中高連携における共通の取組】

授業において、生徒が見方・考え方を働かせる取組みをする。

【各校の取組状況の把握について】

学期末にアンケートの実施(生徒と教師両方に向けて)

◎次の(1)～(3)をバランスよく取組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○一問一答型の問題について正答率が高く、基礎基本の知識・技能が身に付いている。 ●資料を目的に応じて読み取る力に課題がある。	・目的に応じて、資料の内容や意図を読み取ることができる。	・(NIE活動)視写活動に取り組ませる。 ・めあてを毎時間明示し、振り返りを単元のまとまり等で行う。 ・自主学習ノートに①日付、②時刻、③めあて、④内容、⑤振り返りを書かせ、思考習慣を身に付けさせる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題について解決のために考えようすることができる。 ●資料から読み取ったことをもとに、考えをまとめ、表現することに課題がある。	・自分の考えをまとめ、文字にする・発言する等の方法で表現することができる。	・ICTを活用し、生徒自身が意見を発信し交流させる機会をつくる。 ・(NIE活動)新聞切り抜きシートに取り組ませる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○予鈴着席ができていて、授業態度が落ち着いている。 ●自分自身の意見や感想を考えることに抵抗感がある生徒が多い。	・習慣化する力を身に付け、自己肯定感が高く、節制があり、学習に対して挑戦しようすることができる。 ・他人の意見を受け入れ、自分の参考にしようすることができる。	・予鈴着席・予鈴学習に取り組ませる。 ・生徒のモチベーションを上げる声かけ(ペップトーク)をする。 ・行動目標を立てさせ、取り組ませる。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

